

平成30年度 園評価・自己評価結果公表シート

わかさこども園

1. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 教育・保育理念について	<p>・園の保育目標に向かって全職員が取り組んでいる。また、子どもの姿や発達状況に応じた指導計画になるようには努めているが、PDCA サイクルを活用したカリキュラムマネジメントの実施に向けて、今後も園内研修等で検討していきたい。</p>
② 子どもの発達援助	<p>*最もふさわしい生活の場 一人一人の子どもを大切に安心した環境の中で生活できるように心がけている。 命令や禁止が多かったり、行動を急がせるような態度や言葉をできるだけ控えるように、保育に見通しを持ち、保育環境として場や時間の工夫を心がけていきたい。</p> <p>*保育環境 「環境を通した保育」の重要性を職員間でも認識しており、室内外の環境や主体的に活動できる場の設定には心がけたが、十分とはいえない。また、知的好奇心を高める環境の工夫が全体的に弱かったとの振り返りがあり、今後保育環境についても研修を深めたい。</p> <p>*保育内容 「めざす子ども像」をめざし、日々の保育・教育活動の中で子どもの育ちを促すかわりを工夫している。</p> <p><u>～明るく元気な子ども～</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣については、個々の状況に合わせて家庭と連携をとることを心がけた。また、機会あるごとに情報に提供や相談体制を作っていた。</li> <li>・発達段階に応じた多様な動きを取り入れた遊びや体を動かすことを楽しいと思える取り組みにも力をいれた。また、異年齢や友だちと一緒に楽しい、一緒だからできたと思えるつながりを意識した運動も取り入れた。</li> <li>・食育活動では、菜園で収穫したものを利用したのクッキング活動などは十分ではなかった。</li> <li>・戸外遊びの充実には努めたが、場や時間の確保が十分ではなかったと反省している。</li> </ul> <p><u>～仲良くつながるこども～</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢の活動を適宜設定したり、遊びの中で互いに交流し</li> </ul>

<p>③ 保護者に対する支援</p>	<p>たり、かわり合えるような場を設定することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ」は課題が残る。いつでも、どこでも言うわけにはいかなかった。保育者が自ら子どもたちの手本となり、あいさつや感謝の言葉は人と人の心をつなぐ素敵なスキルであることも伝えていきたい。</li> <li>・トラブルの場面では、まずは子どもの心の思いに寄り添い、自分の思いを言葉で表し、相手の思いにも耳を傾けることの大切さをその都度知らせていくように努めた。</li> </ul> <p>～自分で考え、すすんで行動する子ども～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に活動できる子どもをめざし、育てたい姿を明確にし、主体性を重視した日々の保育環境の工夫に努めた。</li> <li>・自由に使える素材や用具などの環境は整えることはできたが、用具や材料の工夫や量の確保に課題があった。</li> <li>・身近な自然や動植物などに接し、子どもたちの気づきや発見を保育に取り入れ、遊びを作っていたり、発展していったが、保育者自身が人的環境として感動体験の幅を広げる努力をすることで、遊びがより充実したものになっていくのではと考える。</li> </ul> <p>* 特別支援</p> <p>特別に支援のいる子どもに関して、支援会議等で職員間の共通理解を行い支援を行った。また、保護者との連携を密にし、ともに課題解決に向かっていった。</p> <p>* 家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お便りやクラス便り、送迎時の連絡等で、日常的に情報交換に努めた。</li> <li>・年間行事予定表の配布などでお休みを計画的にとられる方もあり、参観日への参加率が高かった。</li> <li>・こども様子を伝えるだけでなく、子育てにとって大切なことなど、園での生活の中で気付いたことを保護者と共に考え、解決をしていく体制をとる努力をしたが十分ではなかった。</li> </ul> <p>* 地域の子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも利用しやすい環境づくりはできている。</li> </ul> <p>現在は、支援センターに参加の方のみのサービスの提供になっているため、今後は地域の子育ての拠点施設としての役割を果たせるようにしていきたい。</p>
--------------------	--

<p>④ 保育を支える 組織基盤</p>	<p>*健康・安全体制 安全管理マニュアルの整備はできている。また、職員にも周知されている。各クラスの目に触れやすい場所にマニュアルを掲示している。</p> <p>*職員の資質向上 園内研修の活性化に欠ける。各自が様々な課題意識を持ち望むことが大切。また、日々多忙で時間がとりにくい状況の中で効果的な園内研修の方法や時間の工夫を今後検討していきたい。子どもの状況から、背景や実態などを探り、問題解決に向けての取り組みがまだ不十分である。</p> <p>*運営・管理・社会的責任 保育者自身の人権感覚を研修で深める中で磨き。子どもの最善の利益を保障できるよう、今後も人権を大切にする保育に日々努めていきたい。連絡体制の対応はできている。</p>
--------------------------	---

## 2、今後に向けて

今年度の評価・反省を踏まえて、新年度に向けて地道な取り組みを行う。PDCAサイクルを活用したカリキュラムマネジメント及び記録の取り方の工夫などを園内研修の内容や質を高め、質の向上に努めていきたいと思う。また、個々の自己評価が園全体の自己評価につながって行くので、その都度振り返りを行うことが大切であると痛感している。保育者一人一人が専門性を高め、園全体の質の向上に今後も努めていきたいと考えている。

## 3、こども園関係者評価委員の評価

評価項目	評価
<p>教育・保育内容全般について ・教育・保育目標や目指す子ども像に近づく取り組みがなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な保育目標が示されていればよいと思う。</li> <li>・園庭での菜園づくり、そこに住む生き物（青虫）を育てたり、自分たちで収穫した野菜を料理して食べるなど良い取り組みだと思う。</li> <li>・若桜の自然に興味を持ち、子どもたちが安心できる場所や伸び行く環境が用意されている。</li> <li>・地域の方との交流もできている。</li> <li>・自尊感情を育むため、日々いろいろな取り組みがされており、頑張りがかがえる。</li> </ul>

<p>子どもについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 元気でいきいきとした姿で過ごしているか</li> <li>• 情緒も安定し、表情豊かに過ごしているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 配慮の必要な園児が多い中、丁寧に粘り強く指導されているおかげで、どの園児も元気に過ごせていると感じる。</li> <li>• 八幡タイムや雑巾がけ、運動遊び教室など日々楽しく体を動かして、いろいろな運動に挑戦している様子が運動会や発表会などの姿から伝わってくる。</li> <li>• 様々な場面で、友だちと力をあわせたり、懸命に応援したりと表情豊かに過ごしている。</li> <li>• 異年齢児でのグループ活動や地域の方々と交流をしたりとたくさんの行事の中で子どもたちは楽しく過ごせているように思える。</li> </ul>
<p>教職員について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもに愛情と誠意をもって接しているか</li> <li>• 子ども一人ひとりの良さを引き出そうとしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもに対しても保護者に対しても、誠実に愛情をもって向き合っていると思う。</li> <li>• 子どもたちが先生に名前を呼んで駆け寄る姿を見ていると日頃の生活している姿が目につかび、信頼関係ができていると感じる。</li> <li>• 子どもの成長の様子を踏まえ、また個性に配慮しながら声掛けをされていると感じる。</li> <li>• 子どもの個性や成長に寄り添い、対応されていると思う。保護者アンケートでもその様子が伺える。</li> </ul>
<p>地域、保護者との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域や保護者から親しみやすい園だと感じられているか</li> <li>• 地域や保護者と連携がとれているかどうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 様々な行事にも地域の方の参加も多く、保護者が行事等へ協力する場面もあり、充実していると感じる。</li> <li>• いろいろな町の行事に参加して、子どもや先生が大変だと感じる。少し参加を減らしてはどうかと思う。</li> <li>• 「こども園だより」が地域の回覧で回ってくるので、園の様子を知ることができる。写真も多く、取り組みもしっかり書かれている。</li> <li>• 交流会がたくさん開催されていたり、園行事にたくさんの方々が出席されている姿に、いろいろな方に園が見守られていると感じる。</li> </ul>

★その他の御意見

- 子どもの個々の特性や保護者の多様な期待と要望に丁寧に対応されていると思う。こども園が目指す子ども像に向いて、保護者の方々がそれを理解し、保護者も子育てを通して成長していくような働きかけが必要な時代になってきていることを感じる。
- 保護者の様子は年々変化し、教育力が不足しがちな家庭も多くなっていると感じる。そういう現状について、園だけではなく町全体として機会を捉え、保護者への啓発する場面が必要だと感じる。
- 絶対に待機児童は作らないでほしい。先生を増員してもよいのでは、大変だと感じている。先生方がすごく一生懸命に子どもに接していると感じる。
- 各組での保育の悩みや困りごとなど、職員間で共有する機会を作ることが大切。
- 子ども自身が、達成感や自己肯定感、愛されている実感をさまざまな活動や日々の会話の中で感じてくれると良い。そのために、保護者自身も考え行動することがたくさんあると思う。
- 運動会、夕涼み会などの行事の手続きにおいて、保護者会の負担も大きく、役割分担の見直しが必要ではないかと思う。

教職員個々の自己評価、保護者アンケートの結果なども参考にした園の評価結果や評価委員さんによる園評価でいただいたご意見等を参考に、今後の園運営に生かしていきたいと思えます。

平成31年3月12日

若桜町立 わかさこども園  
園長 矢部 紀子